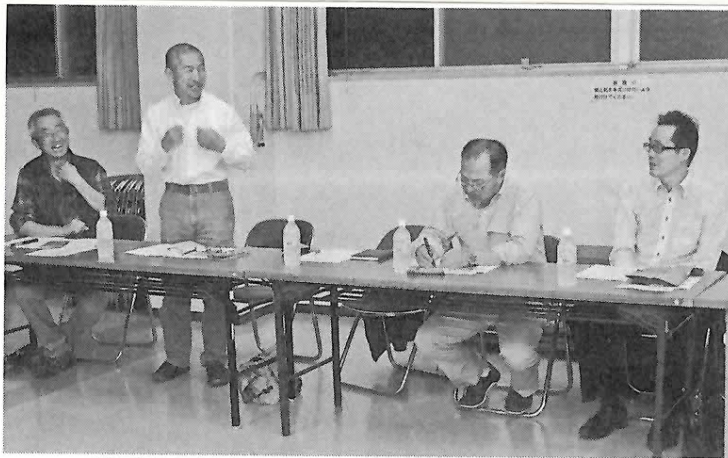


2時間BS番組も紹介

銚子川サミット開く

銚子川流域の環境保護。同区やNPO法人全と活性化を目的とする第12回銚子川サミットが12日夜、海山公民館で開かれ、関係団体などの活動報告などがあつた。海山区の便ノ山区(上村剛史区長)の主



銚子川の魅力を話す水中写真家の内山隆さん(左から2人目)＝12日夜、紀北町海山公民館で

日は和歌山県白浜町在住の水中写真家内山隆さん(50)とテレビ番組制作会社テレコムスタッフ(東京都港区)ディレクターの甲斐健一郎さん(45)も参加。

2人は7月26日午後8時から2時間放送予定のBS朝日番組「ほくらの地球・水色の奇跡」銚子川ブルーの撮影下見で、この日海山区に来て番組について報告した。

甲斐さんと内山さんは銚子川河口から支流の又口川上流の電源開発尾鷲第一発電所付近まで視察。感想も含めて「生活排水が流れ込み普通は汚れている河口で真水と海水が混じるゆらゆら帯が見られるなど、銚子川ほど美

しい川はない。北海道から沖縄までの川を見ているが、ここは日本の誇れる川。郷土を愛する気持ちが大切でサミットの取り組みは素晴らしい」と述べた。

また、第一発電所周辺の新緑が大変きれいだったことや、国道42号銚子川橋付近のふちで数万匹のアユの遡上を見ることができたこととで、「アユを含めたテレビ番組を制作でき

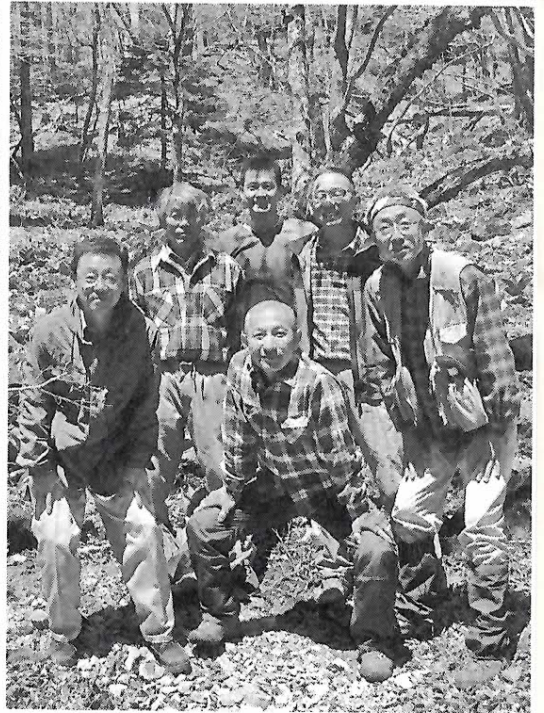
るのは大変幸運だ」と述べた。内山さんは2010年10月に海山公民館であった「銚子川シンポジウム」で基調

講演し、国内有数の透明度を誇る銚子川の魅力を話した。

BS朝日の撮影は14日と23、24日、雨量が増える梅雨の6月、7月6日のきほく七夕物語なども撮影するという。

町営キャンプイン海山指定管理者ふるさと企画舎の田上至理理事長は「銚子川の源流をたずねて」と題してスライド写真で説明。

田上理事長と内山隆さん、浜田課長ら6人が4月28日に紀北町二ノ俣の堂倉山(海拔1474㍎)の銚子川源流を調査。奈良県の大台ヶ原頂上まで車で行き、尾鷲辻から徒歩で堂倉山の銚子川源流に着いた。



銚子川の源流付近に立つ田上至さん(右端)ら(4月28日、紀北町二ノ俣の堂倉山で)

2013年 5月14日
南海日日